

## クラブ社会奉仕委員長会議 報告

社会奉仕委員会 委員長

西宮富夫 (箕面RC)

2013年8月10日(土) 2時より、葉業年金会館にて第1回クラブ社会奉仕委員長会議を開催し、成功裏に終了いたしましたことをご報告いたします。

まず、福家 宏ガバナーより、各クラブは毎年単年度で完了する社会奉仕プロジェクトを実施することが義務付けられていることなどご参加の社会奉仕委員長の皆様を激励するご挨拶をいただきました。

次に、国土交通省近畿地方整備局大和川河川事務所の井上貴嗣河川環境課長より、ワースト1と言われた大和川にアユが遡上するほどに水質改善が進んだことについてご講演をいただきました。昭和38年には大和川は泳げたが、昭和45年には日本で水質ワースト1となり、その後水質改善を進めてきたが、平成17年からは流域住民が一斉に生活排水対策を実施することでようやく環境基準BOD 5mg/ℓをクリアできるようになったとのこと。

環境省の報告書によると、アジア各国では都市化によって河川の汚濁がかっての大和川同様深刻な問題となっているようです。ロータリアンができることは大和川で実施された「流域住民が一斉に生活排水対策を実施する手法」を海外に紹介することと思われました。

次に大阪府健康医療部薬務課麻薬毒劇物グループの

藤川博之総括主査より、大阪府の薬物乱用防止についてご講演をいただき、大阪府の薬物事犯は増加傾向にあって憂慮すべき状況であり、しかも青年層に乱用が広がっているとの報告がありました。大阪府としては「正しい知識」「手を出さないこと」などをキャンペーン等の啓発活動を通じて訴えることや学校での薬物乱用防止教室、地域での講習会の開催などを推進しているとのことでした。

また、地区補助金小委員会宮里唯子委員長より、地区補助金の申請と管理について各種注意事項のご説明をいただきました。今年は地区補助金申請締切が5月末とのことですが、2月にはMOU提出による補助金申請資格認定もあり、全クラブに参加してほしいとのことでした。

最後に、泉 博朗ガバナーエレクトから社会奉仕委員長がクラブの奉仕活動の主役であり、毎日の暮らしの中でやりたいと思うことがあればぜひやってほしいとの激励がありました。また、大阪府赤十字血液センターの「血液事業の現状と今後の献血活動の取組み」に関する資料について、献血はロータリーの重要な社会奉仕活動と考えていますとのコメントがありました。



## 少年少女ニコニコキャンプ報告

青少年活動委員会 委員長

西本健二 (吹田江坂RC)

2013~2014年度少年少女ニコニコキャンプは「夏だ！わいわい友達と思い出つくろう！」をテーマに、8月2日から4日まで大阪府泉南市の紀泉わいわい村におきまして2泊3日のプログラムで実施いたしました。

まずはこのプログラムの準備、運営で大変ご苦労頂きましたホストクラブの大阪北RCの皆様へ厚く御礼申し上げます。また同じく大阪北RCの皆様を中心とする多くのローターアクターの皆様本当にお疲れ様でした。常にローターアクターの良き相談相手になり縁の下で支えていただいたチームライラの皆さんにも感謝いたします。

今回の参加人数は児童76名、ローターアクター54名、そしてロータリアンの登録は539名頂きました。このプログラムは地区内各クラブの皆様よりの児童の推薦及び登録なくしては成り立たません。多くのご登録に対して感謝申し上げます。

さて今年の少年少女ニコニコキャンプの内容を簡単にご紹介いたします。

ゲームもない、テレビもない、携帯電話もない、クーラーもないし冷蔵庫もない。クワガタやカブトムシ、ムカ

デやクモまで色々な昆虫や沢山のかえる、そんな環境での3日間のキャンプでした。

朝ごはんは、子供たちがかまどや七輪を使って作り、五右衛門風呂も体験いたしました。昔の日本の暮らしを通して感じるものがあったと思います。また恒例のキャンプファイヤー、カレー作りを通して自分一人では何もできない、友達の大切さを実感したことでしょう。

ニコニコキャンプの目的は二つあり、一つは子供たちが友情や連帯や心の豊かさを養い、自然に対する畏敬の念を持つことであり、もう一つはローターアクターのリーダーシップ研修の場でもあります。今回の少年少女ニコニコキャンプは以上二つの目的を十分に達成したと思います。加えまして子供たちの言動、表情は実に正直で可愛いものでした。

あらためて子供たちと接することで、子供たちの将来に思いをはせロータリーの青少年奉仕の大切さを再認識いたしました。このプログラムは当地区オリジナルのものですが、来年以降も新たなホストクラブ様のもと、さらに発展する事を切望いたしますとともにロータリアン各位の一層のご協力をお願い申し上げます。

